

展示コーナー紹介

生物多様性と博物館



7月から、エントランスにおいて生物多様性を紹介する展示を開始しました。これは、鹿児島県や鹿児島市などが生物多様性戦略を立ち上げたことに関連し、博物館に見られる生物多様性の展示を紹介したものです。

「博物館には生物多様性の展示がない」とお叱りを受けることもあります。環境の多様性として南西諸島から霧島の山地まで、生物の多様性としてさまざまな生き物を地域ごとに、遺伝子の多様性としてニワトリの品種改良など、3つの側面を持つ生物多様性をそれぞれ感じてもらうことが可能です。またテーマを設定してさまざまな生き物を紹介するコーナーも開設しました。エントランスにご注目ください。

楽しい実験・天文教室の紹介

博物館では、毎週土・日曜日に「楽しい実験」、毎月第2・4日曜日には「天文教室」を行っています。

月	楽しい実験	天文教室
10	スズメバチをさわろう	ガラス絵の具で星を描こう！
11	ジュズダマでかざりをつくろう	お日さまが教えてくれる時計
12	貝がらや石ころでアート	とべとべ たこ
1	星砂をさがそう	光る誕生星座かざり
2	ドングリであそぼう	スペースシャトルを飛ばそう！
3	とべ！ユビコプター	宇宙旅行に行くための貯金をしよう！

博物館科学教室の紹介

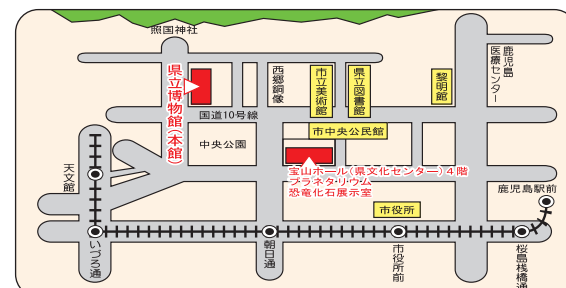
フィールドに飛び出し、本物の自然に触れる「博物館科学教室」。人気があり、キャンセル待ちが出るほどです。事前予約が必要ですので、お早めに申し込みください。

実施日	科学教室内容
9月21日(日)	磨いて作る宝の石
10月8日(水)	びっくり！皆既月食
10月12日(日)	化石発掘体験
10月26日(日)	霧島自然ウォッチング*
11月2日(日)	アサギマダラ大作戦
11月16日(日)	殿様が愛した庭園探訪
12月7日(日)	桜島まるごと再発見
12月21日(日)	木の実でクリスマスかざりを作ろう
1月18日(日)	動物ウォッチング in 城山
2月1日(日)	野鳥の観察をやってみよう！
2月15日(日)	化石レプリカを作ろう
3月1日(日)	街かど化石探検隊
3月15日(日)	マングローブって何だ



アサギマダラ大作戦

●鹿博だより 編集・発行 鹿児島県立博物館
〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号
TEL 099-223-6050 FAX 099-223-6080



ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/>



カスミサンショウウオが天然記念物に指定

平成26年4月22日、カスミサンショウウオが県の天然記念物に指定されました。本種は全長10cm程度の小型のサンショウウオの一種で、成体は平野周辺の森林の林床に生息しており、夜行性のために、普段はあまり観察されません。繁殖期は1～3月頃で、森林周辺の水田や湿地などの止水域に産卵します。県内では出水市と阿久根市だけに分布することが知られており、本種の分布南限となっています。

県立博物館を探検しよう

主任学芸主事 與崎泰久

県立博物館の大切な役割の一つは、鹿児島島の自然を調べ、学術的に価値の高い自然資料を収集・保存するとともに、その資料を整理保管し、収蔵資料を次の世代に引き継ぐことです。収集された資料は、どこに保管されているのでしょうか。

5月に開催した博物館まつりでは、科学教室「博物館バックヤードツアー」を行いました。常設展示室を抜けて、いつもは一般の来館者は足を踏み入れることのない博物館の奥を探検するツアーです。

収蔵庫の厚い扉を開けると二重扉になっています。これは害虫や微生物の侵入防止や、火災が発生したとき標本を守るためのものです。収蔵庫の中には約16万点の標本や剥製が保管されています。

初めて収蔵庫に入ると保存のための薬品のおいと整然と並ぶ剥製等に圧倒されてしまいます。でも、じっくり見ていると、収蔵されている標本は、いろいろなことを

語りかけてくれます。仁王立ちしたホッキョククマの剥製、まるで本物のようなレプリカの植物、子どもたちには宝石にも勝る昆虫標本など、1時間ほどの探検はあっという間に終わってしまいます。

まだ経験したことない皆さんは、是非一度体験してください。博物館だよりやホームページをご覧ください。また、剥製は県民の皆さんから提供されたものがほとんどです。博物館では、生きている動物を捕らえて剥製にすることはありません。珍しい鳥類やほ乳類の死体を見かけたら場所、日時、発見者の記録とともに県立博物館へお知らせください。提供された動物が剥製になり、死んだ後も資料として有効に活用されます。

県立博物館には、皆さんが知らない不思議な場所がまだまだたくさんあります。是非一度ご来館ください。